

つや寝具などの物品コストがかかります。さらに水様便が遷延すると、失禁関連皮膚炎が生じて褥瘡の発生リスクが高まり、薬剤費もかかります。なにより、患者さん

の入院が長引いてQOLが低下し、病院経営にとっても悪影響となります。経腸栄養については、流動食の単価という目先のコストに注目しがちですが、本検証をともし

て病院経営というグローバルな視点から経腸栄養のあり方を見直していく必要があると痛感しました」

1)：『ナースマガジン』2016年8月号(メディバンクス)

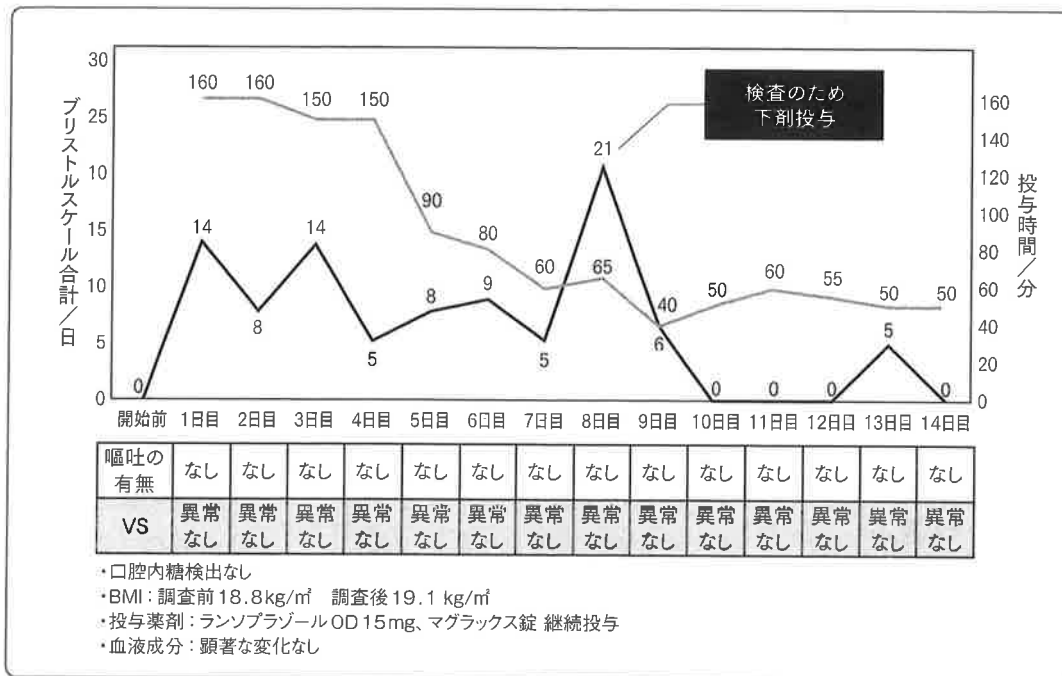


図1 患者の経過①A氏：60代男性・脳腫瘍手術後

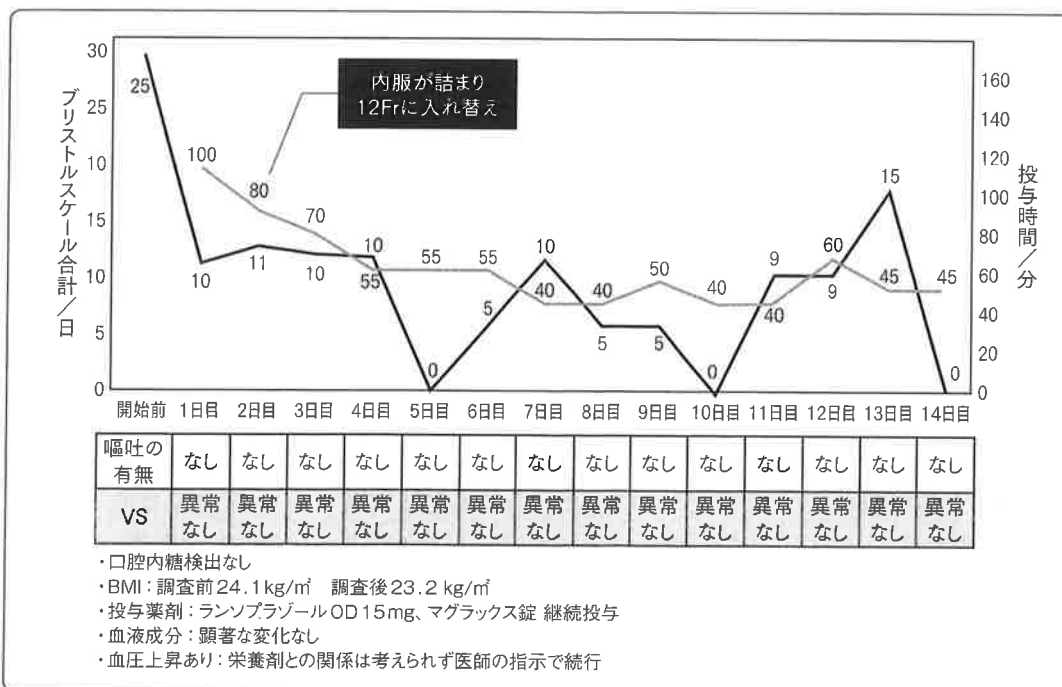


図2 患者の経過②B氏：50代女性・脳出血術後